

仕 様 書

1. 業務名称

入試インターネット出願システム利用及び検定料収納代行業務

2. 業務目的

福知山公立大学（以下「発注者」という。）に出願し検定料を支払う際の出願者の利便性の向上を図ることを目的として、受注業者（以下「受注者」という。）が発注者用にインターネットを介した出願システム（以下「本システム」という。）を構築する。また、本システムの構築にあたり、発注者の管理担当者（以下「管理者」という。）の運用上の省力化・効率化に配慮すること。

検定料の納付方法については、本システムによりクレジットカード決済等の電子決済とし、検定料の収納代行を行うこと。また、本システムの利用サポート体制についても、万全なものとする。

3. 契約期間

- (1) 契約締結時点から令和2年3月31日までとする。
- (2) 受注者は今後5年間の本学における本業務を担当することとする。ただしその内容については毎年見直しを行う。

4. 業務内容

業務の実施にあたり、発注者は本システムにより提供されるサービスを利用するものとする。

(1) 包括的業務

- ①インターネットによる出願の受付
- ②検定料納付の電子決済
- ③インターネット画面の作成

- (2) 受付対象とする入試区分及び利用見込数等については、別紙1のとおりとする。

(3) 開始時期

上記の入試区分のインターネット上での公表及び出願入力受付を、各入試区分の出願期間に従い順次開始できるように対応すること。

(4) 検定料収納保全体制

検定料の収納代金については、保全のための適切な措置をとることとし、発注者への支払い履行を確実にすること。

(5) その他

- ①出願書類（志願票、写真等）の様式は、出願者がダウンロードし、本紙は出願者が本学に郵送することとする。
- ②受注者は、プライバシーマーク制度の認証によりプライバシーマーク使用許諾を受けていること、又はこれと同等の個人情報保護のマネジメントシステムを確立していることとする。
- ③本システムの構築スケジュールを発注者へ提出する。

5. 受注者の条件

- (1) 本件の契約は、原則として、発注者と受注者の二者間による契約とする。業務遂行に当たって関連事業者が必要となる場合は、契約締結後に実施体制図を作成し、関連事業者が行う業務の範囲及び責任の範囲を明確化すること。
- (2) 他大学において、平成31年度入学者選抜（平成30年度実施）におけるインターネット出願受付処理人数が1大学で、1,500件以上の処理実績があること。

- (3) 国公立大学における出願システムについて、過去に5大学以上の導入実績があり、3年間以上の運用実績を3大学以上有すること。
- (4) 過去3年間、受注者及び関連事業者が情報漏洩等の事故を起こしていないこと。受注者及び関連事業者が開発したシステム等に起因する情報漏洩等の事故も含む。
- (5) 本件を実施する受注者の事業所において、次のいずれかの認証を取得していること。
 - ①ISMS 適合性評価制度による認証。
 - ②一般財団法人日本情報経済社会推進協会におけるプライバシーマーク、又は個人情報保護に関する同等以上の第三者認証。

6. 技術的要件

(1) 本システムの基本要件

- ①本学のホームページ画面から、インターネット出願画面へリンクさせること。
- ②画面展開は以下のとおりとし、出願手続が出願者に理解しやすい画面構成とすること。ただし、画面は必要に応じて追加・削除・変更することがある。
 - ・初期画面
 - ・学生募集要項確認画面
 - ・出願手続入力画面
 - ・出願手続入力内容確認画面
 - ・検定料決済入力画面
 - ・願書印刷画面
 - ・管理者用確認画面
- ③出願者自身が、入力したデータを随時確認できる機能を有すること。
- ④インターネット出願の入力方法が、操作マニュアル、各入力項目の説明、FAQ等により、出願者に理解しやすい説明機能を有すること。
- ⑤アクセスが集中しても、システム障害が発生しにくい構造であること。
- ⑥必須項目がデータ入力されずに出願申請をした場合、もしくはデータの追加・削除・変更して出願申請した場合は、入力データをチェックしエラーメッセージが表示されるとともに、エラーが解消するまで出願申請を受け付けない機能を有すること。
- ⑦出願期間外は申請を受け付けない機能を有すること。

(2) インターネットによる出願は以下の通りとする。

- ①志願票の様式は入試区分ごとに異なる様式に対応すること。
- ②出願者ごとに、本システム上の固有番号（受験番号ではない）を自動付番し、出願者が印刷した出願書類には当該固有番号が印字される機能を有すること。固有番号により出願者ごとの出願・決済を管理し、入力データと郵送された出願書類を照合できる機能を有すること。
- ③出願手続の入力項目は以下のとおりとし、入試毎に設定可能とすること。
 - ・固有番号（システム自動付番）
 - ・入試区分（選択必須）
 - ・学部・学科・コース（選択必須）
 - ・学生区分（選択必須）
 - ・氏名（入力必須）
 - ・フリガナ（入力必須）
 - ・性別（入力必須）
 - ・生年月日（入力必須）
 - ・郵便番号（入力必須）
 - ・住所（入力必須）

- ・電話番号（入力必須）
 - ・大学入試センター試験成績請求票に記載された受験番号、試験会場、発行回数（該当する入試区分は入力必須）
 - ・緊急連絡先（入力必須）
 - ・Eメールアドレス（入力必須）
 - ・発注者が指定するアンケート（4項目程度で任意とする）
 - ・その他、発注者が指示する項目
- ④入力項目中、選択部分はプルダウン機能を有すること。各入試区分の独自の入力事項がある場合には対応すること。
- ⑤入力項目の追加・削除・変更、及び出願書類の追加・削除と様式変更に対応すること。
- ⑥出願者がインターネット画面で、出願書類を印刷する機能、及びPDFファイルにて出願者のPC等にダウンロードできる機能を有すること。
- ⑦管理者用画面には、以下の機能を有すること。
- ・出願者が必要事項を入力後、即時に出願者が入力した内容を随時確認できる機能
 - ・出願者が入力した内容を、発注者が指定するCSVファイル形式にて随時ダウンロードできる機能
 - ・出願書類を印刷し、PDFファイルにてダウンロードできる機能
 - ・機能の追加・変更に対応できる機能
 - ・管理者画面より出願者へメール（一括メールを含む）を送信できる機能
- ⑧適正な出願データを受信及び支払を完了した時点で、出願者に自動でその旨のメールで通知する機能を有すること。
- ⑨出願者がデータを入力する際に、検定料の納付方法、検定料の支払日（予定日）、検定料金及び手数料が明確に表示される機能を有すること。
- ⑩出願登録の完了前に、出願者のEメールアドレスと本学とのメール送受信ができるかどうかを確認する機能を有すること。
- (3) 検定料の納付方法は以下の通りとする。
- ①検定料は発注者に代わり、受注者が収納代行すること。
- ②納付方法は以下の電子決済とする。
- ・クレジットカード決済の場合、利用可能なクレジットカードは以下のとおりとする。
VISA、Master、AMERICAN EXPRESS、JCB、NICOS、UFJ、DC、MUFG
 - ・コンビニエンスストア決済の場合、利用可能なコンビニエンスストアは以下のとおりとする。
7ELEVEN、LAWSON、FamilyMart、MINISTOP、DailyYAMAZAKI、Seicomart
 - ・ネットバンキング決済の場合、利用可能なネットバンクは以下のとおりとする。
ジャパンネット銀行、楽天銀行、じぶん銀行、住信SBI銀行
- ※決済システムの障害が発生した場合、他の支払手段が提供できること。
- ③データ入力した出願者本人と、本人以外の者（家族等）が検定料を納付した場合、固有番号により照合できる機能を有すること。決済手続の入力項目は、以下のとおりとする。
- ・検定料の納付方法（選択入力）
 - ・クレジットカード決済の情報入力画面（カード番号、セキュリティコード、有効期限）
 - ・コンビニエンスストア決済、ネットバンキング決済の情報画面
- ④受注者は、発注者と上記の各電子決済会社等の全ての取引を代行すること。
- ⑤検定料の納付は全て「一括払い」とすること。
- ⑥特定の出願者に対して検定料を無料とする取り扱いができる機能を有すること。
- ⑦電子決済等にかかる全ての収納代行手数料は、出願者が負担するものとする。なお、各電子決済会社の手料は経済情勢の変動により協議の上、変更する場合がある。
- ⑧管理者用画面には、以下の機能を有すること。

- ・出願者の支払手続後、即時に決済情報の内容を随時確認できる機能
 - ・決済情報を発注者が指定するCSVファイル形式にてダウンロードできる機能
 - ・機能の追加、変更に対応できる機能
 - ・志願者がダウンロードする書類と同じものをダウンロードできる機能
- ⑨受注者は、検定料の収納代金を、毎月末日締めで翌月末までに支払うものとする。但し、クレジットカード決済を利用した場合は、毎月末日締めで翌々月末までに支払うものとする。なお、収納代金の支払情報については、発注者の財務会計システムと連携するために、発注者が指定するCSVファイル形式で提供すること。
- (4) インターネット画面の表記言語は以下の通りとする。
- ①インターネット画面の表記言語は日本語とする。
 - ②発注者が制作する募集要項について、その指示に従い本システムに掲載すること。
- (5) 稼働環境及びシステム機能は以下の通りとする。
- ①インターネットによる出願は、Internet Explorer 11 以上、Firefox、Google Chrome、Microsoft Edge の最新版による出願・決済ができる機能を有すること。
 - ②本システムは、受注者が用意するWEBサーバ（クラウド含む）上で稼働していること。
- (6) ユーザー管理・権限は以下の通りとする。
- ①本システムの管理画面にログインする際に、IDとパスワードを設定する機能、及び管理者が使用するPC端末に対してアクセスを制限する機能を有すること。
 - ②管理者のユーザー数は、発注者の指示により設定すること。
 - ③管理者は以下の機能が利用できること。
 - ・全入試に対する出願者の情報一覧表示（出願・決済情報の全件）
 - ・全入試に対する出願者の検索機能
 - ・全入試に対する出願者情報のCSVダウンロード機能（出願・決済情報の全件）
 - ④管理画面にログイン後、入力のない状態が60分以上続いた場合、自動的にログアウトする機能を有すること。
- (7) 通信回線は以下の通りとする。
- 支払い処理等の特殊な処理を除き、インターネット画面の展開は1.5MADSLもしくは光回線の環境下（通信速度が十分発揮できる状況）において、平均10秒以下であること。

7. 障害発生時等の対応、保守・復旧支援体制

- (1) 本システム導入後の契約期間内において、本システムに障害が発生した場合の障害の原因調査、復旧、本システムの点検、本システム利用時の問い合わせ対応等のユーザーサポートは本契約内に含み無償で実施すること。
- (2) 本システムを安定稼働させるための維持・管理体制を有し、障害対応・ユーザーサポートに対する窓口は一本化されていること。また、障害が発生した場合の原因の切り分けについての支援体制を有すること。
- (3) インターネット出願及び電子決済に障害が発生した場合は、発注者に速やかに通知するとともに早急な復旧に努めること。特に通信システムがダウンした場合は最優先で対応すること。
- (4) 発注者が障害として通知した事項は、以下の手順で対応すること。
 - ①発注者からの通知に対するメールまたはFAXによる受領通知
 - ②原因の調査
 - ③対策及び文書による作業報告
- (5) 発注者からの、電話、電子メール、FAX、郵送等によるユーザーサポートについての問い合わせに対応すること。なお、問い合わせ対応について文書により作業報告を行なうこと。
- (6) 本件システムに起因する障害が発生した場合は、通知後ただちに復旧のための修復作業にあたること。なお、遠隔での作業を必要とする場合は、双方で作業方法を協議のうえ対応すること。

- (7) 本システムの運用については、Google Chrome、Microsoft Edge 等の最新版による出願・決済ができる機能を有すること。
- (8) 発注者と受注者の双方の担当者によるシステム全体の運用等に関する打ち合わせを行うこと。

8. セキュリティ体制

- (1) 出願・決済とも重要な個人情報を取り扱うため、情報の流出を防止する万全なセキュリティ体制を構築すること。
- (2) ネットワーク機器、回線、サーバを二重化し、片方の機器が故障した場合でもシステムが動作する機能を有すること。
- (3) データベースは読み取りが困難となるように暗号化等の対策が実施されていること。
- (4) 1日1回以上、データのバックアップをとること。
- (5) 外部からの既知のウイルスの侵入および拡散しないための対策を行うこと。
- (6) ファイアウォール機能より外部の攻撃からシステムを防御すること。
- (7) 通信はhttps を利用し、SSL 暗号化により情報の安全性を確保すること。
- (8) 契約間中、本システムを構成するOS、ミドルウェア、ライブラリ等のバージョンを適切に管理し、これらに重大なセキュリティ欠陥が発見された場合は、迅速にアップデートを含めた必要な対策を講じること。
- (9) 受注者の原因により個人情報データが流出した場合、受注者が責任を負うこと。

9. ユーザーサポート体制

- (1) 本システムを利用する出願者に対して、電話ならびに電子メールによって、操作方法や支払い方法等についてのユーザーサポートを提供すること。
- (2) ユーザーサポートの時間帯は、9時00分から18時00分の間とする。ただし、事前に発注者の承諾があれば、ユーザーサポートを一時停止することができるものとする。
- (3) 電話によるユーザーサポートの対応言語は日本語とする。

10. 教育支援体制

- (1) 本システムの管理者に対し、本システムを円滑に運用するために、教育・訓練の説明会を、必要に応じて双方で協議し開催すること。
- (2) 本システムを稼働させるにあたり、必要となる権限設定作業の支援を行うこと。

11. 管理画面マニュアル

- (1) 管理画面マニュアルを提供すること。
- (2) マニュアルは、日本語版で電子媒体と紙媒体で提供すること。電子媒体のファイル形式は、Windows 版 Microsoft Word 2003 以降のバージョンで正常に開くことができること。
- (3) その他、マニュアルが必要と判断される場合は、担当者間で協議し作成・提供すること。

12. その他

- (1) 受注者は、本業務を行うにあたって知り得た委託者の業務上の情報を第三者に漏洩し、又は他の目的に利用しないこと。
- (2) 本仕様書に定めるもののほか、必要な詳細は、発注者が定めた役務請負契約基準によるほか、記載なき事項については双方協議の上、決定するものとする。

以上

入試区分一覧

福知山公立大学 令和2年度入試

地域経営学部（地域経営学科、医療福祉経営学科）

入試区分		出願期間	利用見込者
特別入試	推薦入試	10月28日（月） ～ 10月31日（木）	100名
	社会人入試		10名
	私費外国人留学生入試 ※		10名
編入学試験	2年次		10名
	3年次		40名
一般入試	前期日程5教科型		1月27日（月） ～ 2月5日（水）
	前期日程3教科型	200名	
	後期日程	200名	

※私費外国人留学生入試は地域経営学科のみの募集

情報学部（情報学科） ※認可申請中のため、入試区分や出願期間等に変更の可能性がある

入試区分		出願期間	利用見込者
特別入試	推薦入試	10月28日（月） ～ 10月31日（木）	100名
一般入試	前期日程5教科型	1月27日（月） ～ 2月5日（水）	300名
	前期日程3教科型		200名
	後期日程		300名